

# よらねわか 小合

## 地域の人口動態

平成28年12月末現在

世帯数	1,245 戸
男	1,872 名
女	1,991 名
人口	3,863 名

2017. 2. 1 第50号 小合地域コミュニティ協議会

発行責任者：四柳健二 編集：総務部



### 今号の主な内容

「自主防災訓練」各地域で開催 **2面**

「上手な医者のかかり方」お役立ち講座開催 **3面**

「小合を花の里に」(花いっぱい運動) **4面**



## 年頭のご挨拶 『地域で築いた二十年』

小合地域コミュニティ協議会 会長 四柳健二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。小合コミ協の事業運営につき会員はじめ関係皆さまの格別なるご理解ご協力を賜り深く感謝を申し上げます。

昨年は秋葉区11コミ協のうち大半で設立10周年記念式典が活動の節目として盛大に挙行されました。

平成18年に分権型政令市に移行する前に、全市97コミ協が結成されました。人口減少や少子高齢化対策に備えて市民力、地域力を活かしながら安心安全な街づくりしたものと思います。

当コミ協も今年で20周年を迎えますが、先人達が築いた今日までの道のりを大雑把にご説明します。

◆昭和57年頃、小合中教員住宅跡を新津市小合公民館分館として活動していたが、建物の老朽化と手狭なことから公民館と絡んで利用できる「コミュニティ会館」の建設誘致構想をまとめ自治会、安協母の会、市議等と陳情団を結成し地元民に支えられ平成6

年まで粘り強く運動を行いました。

◆平成9年、地元の熱意と請願が認められ建設面積は縮小されたが「小合地域活動センター」が竣工いたしました。

◆平成14年、センター利用者の増大と利用者団体の強い要望も含め更に先進の荻川コミ協への視察研修と各種ご指導を受けながら大ホール増築を要望いたしました。これが地域振興事業として予算化され、最大300人収容可能な大ホールが完成し、本格的なコミ協活動に力が入りました。

◆同年「小合地域コミュニティ協議会」となり、自治会、町内会はじめ地区の住民全員が会員です。市内の住民が利用登録すればセンター利用料金が安くなります。

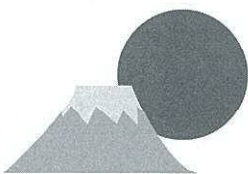
◆平成16年、活動センターは新潟市の条例により「小合地区コミュニティセンター」となり、建物などの管理運営費も増額されました。

指定管理者はコミュニティ協議会（会長）となっております。

◆平成27年、新潟市コミ協条例が制定され、コミ協と新潟市は地域課題に取り組むパートナーと位置づけると要綱に明記されました。現在、秋葉区11コミ協連が組織され、研修会や交流会を行うなど活動の充実に力が図られています。

当初のコミュニティ活動は模索の時代であり、何を手掛けるにも大変なご苦労があったと存じます。ご尽力くださいました先人、先輩各位並びに関係された皆さまに深く感謝申し上げます。

結びに、今年が皆さまにとって福多き良き年でありませうと祈念申し上げます。新春の挨拶とさせていただきます。



# 小合地域一斉自主防災訓練実施

11月6日(日) 午前7時30分～ 小合各自治会・町内会集会場

毎年一回行う小合地域一斉の防災訓練、コミ協の中に組織された「防災環境部」が中心になって計画し、過去の訓練を継承しながら、今年は、各自治会(町内会)毎に公会堂などの集会場で、訓練を行った。

◆今回の訓練では、小合地区の消防団、秋葉方面隊新津第7分団、新津第8分団の皆さまの協力により各会場で

- ① 消火器訓練、
- ② AED による負傷者の心肺蘇生訓練、
- ③ 簡易タンカ作り の各訓練、他が行われた。

◆当日は、小学生、中学生の子ども達も参加し、親子での参加も目立った。参加した方からは「今、災害の多い時代なので実際に訓練を体験して役立った等の意見があった。」

◆又、「非常時の炊き出し訓練」として事前(10月30日)に各地域代表の方から非常食のご飯(アルファーム)作り訓練をコミュニティセンターで実施した。



子供達も参加して  
消火器訓練



「赤い羽根共同募金」の助成を受けて防災無線機(4台)を設置しました。

今回の訓練では、各避難所から無線通信で、統括本部へ連絡する訓練を行い、写真の「赤い羽根つき無線機」を、共同募金の助成を受けて設置し、訓練に使用した。



## コミセン利用団体

### 「カラオケと舞踏の発表会」開催

11月19日(土) 午前10時～ 会場：コミセン大ホール

日頃から、コミセンで練習して腕を磨いている利用者団体の内今年はカラオケ及び踊り、銭太鼓の皆さんが合同で発表会を開催しました。

発表者は、午前と午後の二部形式で行い、参加者はカラオケ：29組、おどろて会、銭太鼓の皆さんでした。

発表会の最後に特別出演のゲスト歌手として南魚沼市出身の「原沢みなこ」さんから出演していただき、会場を盛り上げました。

尚、今回の発表会は小合郵便局開局70周年記念として、小合郵便局から後援していただきました。



### こんなことあったよ!

投稿記事を募集します!

広報誌(よらねかね小合)へ話題や写真の投稿を募集します。

【例えば】

●私の地域でこんな行事がありました。

●家の畑で変わった形の大根が採れた。ナド、ナド

投稿を希望する方は、小合コミ協(コミュニティセンター)に持参するか、総務部広報担当又は事務局(055)22999までご連絡願います。

### 福祉お役立ち講座

## 演題『上手な医者のかかり方』

講師 新潟市民病院 副院長 小田弘隆 先生

11月17日(木) 会場…コミセン大ホール

◆身近なこまり事の相談で、これまで好評をいただいています福祉お役立ち講座を今回は「新潟市制さわやかトーク宅配便」として開催し、新潟市「市民病院」の副院長小田弘隆先生から「上手な医者のかかり方」と題して講演をしていただきました。

◆皆さんの健康を守る為には、日頃から『自分のことや家族のことを良く知っていて、気軽に相談出来るかかり付け医』を持つことで、健康につながる等々、私たちに身近で役立つ色々な話を聴くことが出来ました。

◆小田先生の講演の後に、第二部として、小合読み聞かせの会(お話の玉手箱)の広瀬サチ子さんから朗読：今回は宮沢賢治の詩などの朗読をしていただきました。全員でなつかしい朗読に聴き入りしました。

【福祉厚生部】



読み聞かせ



講演する 小田先生

### 地域対抗

## 高齢者福祉輪投げ大会

11月27日(日) 会場…小合中学校体育館

【保健体育部】

地域の皆様の健康増進と交流を目的として開催しました。この大会も、今年で第6回目を迎えました。小合地域対抗として各自治会、町内会から大勢の方が参加し、全16チームとなりました。参加各チームが一丸となり熱戦が繰り広げられました。

### 【結果】

- 一位：浦興野Cチーム
- 二位：小戸下組Bチーム
- 三位：小戸上組チーム
- 四位：大秋Bチーム



優勝した「浦興野Cチーム」



## 健康ウォーク(第48回) 「たきがしら湿原を歩く」

11月5日(土)

◆今回は、阿賀町上川地区の「たきがしら湿原」を歩いてきました。天候に恵まれ、紅葉の深まる湿原を、管理人をされている藤曾根の大橋さんから案内していただきました。美しい紅葉を觀賞して自然を満喫するウォーキングになりました。最後に隣接する七福温泉につかり汗を流しました。



湿原を歩く参加者

近所の居場所つくり視察研修

地域包括ケア推進モデルハウス

『実家の茶の間』(紫竹)訪問

12月12日(月)

今年から、介護保険の地域包括システム制度が変更になります。小合の社会福祉協議会では今後の参考とするため、新潟市東区紫竹にある「地域包括ケア推進モデルハウス・実家の茶の間」を視察してきました。

この施設には、地域近所の方が希望すれば、子どもから、大人、高齢者の誰でもが利用できる部屋が多くあり、利用料は300円、昼食の必要な方はプラス300円であり、談話や趣味など自由に利用でき、週2回開設しています。

小合地域には既に各自治会毎に『いきいきふれあいサロン』が開かれています。サロン運営方法の参考とするために各地域(サロン)の代表の方からこの視察に参加していただきました。

【参加した人の感想から】

子供から高齢者までが寛げる茶の間施設の隅々に色々な工夫がされていて参考になった。

例えば、利用者のプライバシーを守る注意事項の張り紙をしたり茶の間の当番は自ら名乗った



実家の茶の間 (空き家を利用)



茶の間内部で懇談する参加者

人が自主的に行い、昼食など人数が限られない料理(カレー、具沢山のお汁など)を作っていた。

★お知らせ★

小合地域

花いっぱい親子大会

「小合を花の里に」

小合コミ協

事務局長 井浦博男

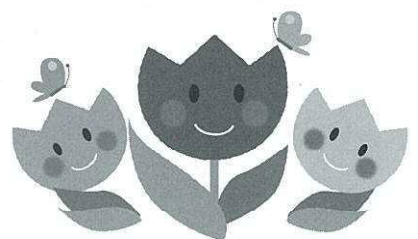
十二月初旬小合の小中学校・町内会・コミセン周辺などで、チューリップや水仙・クロッカスなど春に咲く花の球根を植える「花いっぱい親子大会」が開催されました。

小合は江戸時代から花卉園芸が盛んで、特に一九〇〇年台に日本で初めて「牡丹をシヤクヤクに接ぎ木する栽培法」や「チューリップ商業生産」に成功するなど新潟県の産業に貢献してきました。近年はアザレア(生産量日本一)やクリスマスローズなどの栽培も盛んです。

しかし、多くの人々が集う学校やコミセン・町内には小合の花が少なく、「花の小合」としてさみしいという意見が多く寄せられています。この様な地域の声を受け、この度市助成金を活用し、子どもを含めた地域住民が地域に小合の花を植え、花を紹介する「パネル」を制作し、先人の努力を讃え、と共に、ふるさとを花いっぱいにする



することにしました。三日は雨模様、少し寒い日でしたが、コミセンで作ったトン汁などもいただき心と体を温めることができました。今回の事業にご協力いただいた四柳養樹園様はじめ地域・学校関係者の皆様大変ありがとうございました。尚、パネル展示は二月の予定です。



◇編集後記◇

今年雪が降らないのかなと思っていました。急に寒波が来て秋葉区は大雪となりました。雪の被害がこれ以上大きくなりませんようお祈りします。今年度の広報誌は総務・広報担当10名で心を込めて作成しました。ご協力をいただいた方、有難うございました。

(広報担当一同)